

事業概要シート

施策	0501	健康づくりの推進	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	アピアランスケア助成事業		新規	予算額	1,677 千円
事業期間	令和7年度 ～ 令和9年度				≪ 0 ≫千円
根拠法令 要綱等	がん対策基本法		財 源 内 訳	国庫支出金	千円
				県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	1,677 千円

【事業の目的・概要・対象】

【事業目的】

がん患者のがん治療に伴う外見の変化による精神的負担及びその変化を補完するためのアピアランスケア用品の購入に伴う経済的負担の軽減を図り、がん治療と社会生活の両立を支援するため、アピアランスケア用品の購入に係る費用を助成するもの。

がんやがんの治療によって、脱毛や皮膚・爪の変化で外見が変わることがある。外見が変わると、仕事や学校、買い物に行くなどの普段の生活を送ることが難しいと感じる人もいる。アピアランスケアとは、外見が変わっても安心して自分らしく生活を送ることができるよう支えるケアのことをいう。

【対象】

がん患者（大村市民）

【概要】

大村市

がん治療による外見の変化にお悩みの方へ

**アピアランスケア用品
購入費用の助成**を始めます

がん治療による外見の変化を補い、がん治療と社会生活の両立を支援するため、アピアランスケア用品の購入費用の一部を助成します。



がんの治療によっておこる外見の変化には、薬物療法や放射線治療による脱毛や皮膚の変化、手術(外科治療)によってできる創きずなどがあります。



ウィッグなど



人工乳房など

購入にかかる費用を大村市が助成することで、がん治療と社会生活の両立を支援します。

【背景】

平成18年6月：がん対策基本法成立 令和6年4月：第4期がん対策推進基本計画スタート

※ 第4期がん対策推進基本計画の「がんとの共生」分野中ではアピアランスケアの項目が新設された。

※ 県内では上記の項目新設もあり、アピアランスケア助成事業を実施している市町が1/3（7市町/21市町）まで増えている状況である。

※ 国の委員会（がんとの共生のあり方に関する検討委員会）で外見変化を体験したと答えたのは、全体の58.1%（601/1,034名）。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	三谷 浩
担当者	馬場 星良	問合せ先	0957-53-4111(内線152)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	周知用ポスター等の設置場所	計画値	ヶ所			100	100	100
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	ウィッグ購入助成	計画値	人			60	60	60
②	乳房補正具購入助成	計画値	人			20	20	20

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	0	0	0	1,677	1,677	1,677	5,031
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	0	0	0	1,677	1,677	1,677	5,031
人件費	0	0	0	3,648	1,466	1,466	6,581
職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.50人	0.20人	0.20人	0.90人
時間外勤務(h)	0h	0h	0h	6h	6h	6h	18h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	5,325	3,143	3,143	11,612

妥当性 (市の関与)	がん拠点病院の報告によると、年間のがん罹患者数は市内でも700名程度確認されているが、うち、抗がん剤治療などを行う患者も相当数いると考えられ、市の事業としては必要な取り組みである。
有効性 (施策貢献度)	がん検診率の向上を図る上で、がんが発見された場合に患者に寄り添う制度があることはがんに対する行政の姿勢を見せることができ、有益性が高い。
効率性 (コスト)	県内他市の同規模自治体を参考に上限を2万円とし、助成を行うこととしている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり